

ESPLANADE

FUKUOKA ART MUSEUM

富野由悠季の世界

世界初！
富野由悠季展

いとしかるこく、そいいます。はあ筆の身えたは、大れてつぶれぞいてい

浦は、縫いる造した。界を水彩ハ、現ムを水とジャンを探

(担当) 知子

見 て から 読 む か

読 ん で

か ら 見 る か

水と絵の具とともに表される、複数の時間と身体の動き

大きな紙の上に広がる、黒とも青とも茶ともつかない色。それらの色はにじみ、流れ、混ざり合い、溜まり、乾き、紙の上に定着しています。水彩画の本作は大きな染みのよう。ですが「のびひろがっていく身体」というタイトルを手がかりに作品に再び目をやれば、右を向いたふたつの頭に気づくことでしょう。そしてこの染みが「身体」だと思いなおした瞬間に、深い色のにじみは普段は内側にあって見えない血液や臓器をも想起させるものとして、嗅覚や聴覚そして触覚に訴えかけながら、改めて生々しく立ちあらわれてきます。水彩という画材はその名の通り、水を媒剤に用います。人間の身体の50～75%を占めている水が、わたしたちに馴染みよいのには疑うべくもありません。油を媒剤とする油彩画と比較し、「水のほうが、皮膚感覚として圧迫感がないので、心身ともにリラックスできる」と作者の大浦こころは語っています。大浦のアトリエは自然光が差し、時には窓からの風が入り込む環境。紙の上に置かれた色水は、時に思いがけない方向へと流れてゆきます。それはできるだけ

自然とともに、^ま生のままでありたいという作家の態度にも通じます。しかし絵の具に生麩糊が混ぜられることで、色はただ流れるのではなく、そこに滞留した時間を湛えています。紙の上に広がるのは、色だけではありません。透けてみえるのは鉛筆の線。その線をたどれば、ひとりの身体の動作を異時同図的にとらえたものとわかるでしょう。本作では、大きな筆を運ぶ作者の所作、描かれている人物の動作、そして水をたっぷりと含んだ絵の具の揺動が、それぞれの時間を伴いながらのこざれているのです。

学生時代に絵画を学んだ大浦は、1990年頃より布を草木染めし縫い編み、しなやかに空間に介入する造形で作家活動をスタートしました。その後、甘く苦い夢のような世界を油彩画で描き、1996年からは水彩を用いた大画面の絵画に着手し、現在にいたります。用いるメディウムをがらりと変える大胆さは、その水と絵の具の特性を生かしながらジャンルの内に留まらない絵画表現を探索する本作にも見られます。

学芸員（近現代美術担当）
正路佐知子



所蔵品紹介

のびひろがっていく身体 14
大浦こころ
Kokoro Oura

DATA
生年 1960
制作年 2002
技法・素材 水彩、生麩糊、鉛筆・紙
サイズ 233.2 × 152.0cm



富野由悠季
の世界

The World of Yoshinori Kashiwagi
A Retrospective of Legendary Anime Director
Gundam, Ideon, and More

CONTENTS

- 00 見てから読むか、読んでから見るか
大浦ころろ
《のびひろがついていく身体14》
- 04 ミドコロドコ？
富野由悠季の世界
- 06 ミドコロドコ？
長谷川派
《韃靼人狩獵図屏風》
- 08 学芸員と、みてはなし。
《コブウシ形土製品》
- 10 あたらしく、かろやかな、
美術館とのつきあいかたのすすめ
- 11 LECTURE / FEATURE
- 12 CALENDAR / TIPS

©手塚プロダクション・東北新社 ©東北新社 ©サンライズ
©創通・サンライズ ©サンライズ・バンダイビジュアル・バンダイチャンネル
©SUNRISE・BV・WOWOW ©オフィスアイ



富野由悠季のなにが新しかったのか？

2F

1

日本全国6館の美術館学芸員が共同で企画し、福岡市美術館が最初の会場となる「富野由悠季の世界」展。なぜ美術館でアニメ監督の展覧会を行うのか？どんな展示が行われるのか？企画チームの一人である山口洋三学芸係長に話を聞きました。

【語】学芸係長（近現代美術担当） 山口洋三

「美術館でアニメの展覧会？」そう思われる方もいるかもしれません。今回の展覧会は、富野由悠季を一人の作家として捉えて企画しています。日本には、高畑勲、宮崎駿、押井守など、すばらしいアニメ作家がいます。私には、中でも富野由悠季はのちに与えた影響力が最も大きな作家ではないかと考えています。富野といえればロボットアニメのイメージが強いでしょう。その印象は正しいのですが、「ロボットを使ってなにをしようとしたのか？」が、とても画期的だったのです。

まず「ロボット＝兵器として扱った」と。それまでのロボットアニメでも戦闘シーンはありませんでしたが、それは特別な科学者がつくりだした唯一無二の存在でヒーローとして位置づけられていました。しかし富野が描く作品世界では、ロボットは例えばモビルスーツと言ひ替えられ、量産される合理的な兵器として登場します。なぜそうしたのでしょいか？それは「ドラマを描こうとしたから」でした。富野は、ロボットが必要とされる背後の社会や政治システムを描き出しまし

た。今でこそあたりまえに感じますが、ロボットが戦う理由を、人間同士の戦争にあり、時としてそれが不条理を伴うということ、勸善懲惡ではなく、リアリティをもって表現したのは、富野が最初でした。アニメが持つ可能性の深さを追求した作品は、多くの熱狂的な大人のファンを生み出しました。『機動戦士ガンダム』の一話目が放映された時、同級生たちが「なんだかすこいものが始まった」と騒いでいたことを思い出します。

さて、そういった富野作品の新鮮さを、今回の展覧会では「企画書」「設定資料」「絵コンテ」「レイアウト」「セル画」「映像」など、多彩な資料で明らかにします。千点を超える圧倒的な物量を一堂に展示することで、富野が考え取り組んできたこと、概念が見えてくることを期待しています。そのような意味では、富野ワールドのファンはもちろん、現代アート愛好家のみならずにも楽しんでいただける展示になっているはずですよ。



富野の父は、太平洋戦争時に戦闘機の中で着る圧服を設計していたため、富野少年も空や宇宙に興味を持つことに。宇宙への憧れの気持ちを表現した絵が残されています。当時アメリカで作られていた月世界を描くSF映画を見て、小学生の富野少年は「リアルだけど話がつまらない」と言っていたそう！この頃から、後の「ドラマ重視」につながる考えの片鱗を見せていたのです。

今回『機動戦士ガンダム』制作前に書かれた、30枚にも及ぶ企画書が展示されます。その中には、地球環境の悪化による宇宙移民計画、スペースコロニーの歴史など、詳細な設定が見て取れます。1979年放映開始当時、高度経済成長期が終わり、公害や人口爆発などの問題が社会を覆っていました。富野は、SFの空想世界の中にこのようなリアリティを取り込み、文明批評にまで至りました。



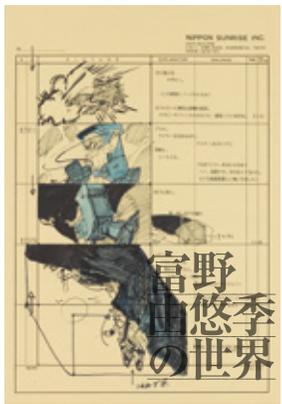
Photo: 鈴木心

富野由悠季 Yoshiyuki Tomino

『機動戦士ガンダム』（1979年）などのガンダムシリーズの他、『伝説巨神イデオン』（1980年）、『聖戦士ダンバイン』（1983年）など数多くのオリジナルアニメーションの総監督を務め、国内外のアニメーションに多大な影響を与える。

4 絵が下手!?

日本にはアニメーター出身の監督が多いことから、そうではない富野は「絵が下手だ」と言われることがあります。しかし、膨大な量の絵コンテを見ると、そのような言説に意味がないことが分かります。シンプルな線で、的確にコンセプトを伝える絵コンテからは、演出家としての優れた手腕が伝わってきます。その後の行程で絵を描くアニメーターたちの想像力をかきたてるに違いありません。



1 宇宙への憧れ



2 空想+リアリティ



富野作品の多くで、主人公には容赦ない試練がおとずれます。『海のトリトン』では敵の論理を知ることで、トリトンは自分の存在意義が揺るがされます。『無敵超人ザンボット3』では、主人公の幼馴染が敵によって人間爆弾に改造され、死に至ります。まるで現実社会を写すような、暗喩に満ちた試練を乗り越えて少年が成長する姿が、多くの人の共感を得た理由のひとつかもしれません。



4つのキーワード



3 少年の成長譚である

EXHIBITION INFO

富野由悠季の世界
—ガンダム、イデオン、そして今—
◆会期 2019年6月22日～9月1日
◆会場 福岡市美術館 2F 特別展示室
デビューから55年。アニメ界の巨匠・富野由悠季、世界初の回顧展。映像のほか、絵コンテ、初期設定、ポスターイラスト、模型など、貴重資料でトミノワールドの全貌に迫ります。

眼の前の美術品と
どのように向き合うか？

日本人じゃないような
服を着てるね

1
この馬はすく
赤と青が塗られてる
怖がっているみたい

2
矢で
射られてる
山奥かな？

犬とイノシシかな？
ひょっとしたら
狩りしてるんじゃない？
人に飼われている犬かも

3
鹿
肉を持っていく人が
いるから、
これから料理するのも
やっぱり！
鹿みたいなのがつかまってる！

この傘の下の人は、
服や態度がなんか偉そう

じゃあラップを
吹いてるのは、
「はんの合図」かな

1990年から取り組んでいる「夏休みこども美術館」。子ども相手だけど「子どもだまし」でない、本物のアートを楽しめる毎年好評の企画です。今年のテーマは「美術のひみつ〜昔の美術編」。担当学芸員に、この展覧会の楽しみ方を聞きました。

主任学芸員（教育普及担当） 鬼本佳代子

大 人は美術作品を観る時に、様々なことを考えています。（この作品はいつの時代のものかな？）（絵の中に、〇〇が描かれているということはどうかな？）これはわたしたちが様々な経験や知識を経た結果、手に入れた鑑賞方法だと言えます。一方子どもたちは、経験や知識が少ない分、眼の前の作品からのみ鑑賞しようとします。当館では、小中学校などへ出かけていって、所蔵作品のレブリカなどを使って美術にふれるアウトリーチの機会をつくっていますが、子どもたちからは、はつきり言葉にできなくても何かを感じている

様子が伝わってきます。実はこの「見る、観察する」という方法は、わたしたち大人にとっても欠かせない大切な姿勢なのです。今取り上げた《韃靼人狩獵図屏風》は、「見る、観察する」鑑賞に、ピッタリの作品です。残念ながら、読者のみなさんが絵に近寄ることができないので、いくつかの部分拡大してみます。どんなふうに見えるか、自分なりに考えてみてください。ここでは過去に子どもたちから挙がった声の一部をご紹介します。

DATA	
作品名	韃靼人狩獵図屏風
作者	長谷川派
時代	江戸時代
技法・素材	紙本着色
サイズ	縦155.7cm 横33.42cm
コレクション	黒田資料



2
1F

EXHIBITION INFO

夏休みこども美術館 2019
「美術のひみつ〜昔の美術編」

◆会期 2019年7月30日～
9月29日

◆会場 福岡市美術館 1F
古美術企画展示室

美術作品が、「おもしろい」「価値がある」と考えられるのは、なぜなのか？ 当館の所蔵品の展示を通して、作品の素材、来歴、鑑賞方法など、美術品の多様な側面からその秘密に迫ります。子どもたちが楽しめるワークショップなども実施します。

こうした観察の結果出てくる言葉は、借り物ではなく自分から出てきたものばかり。その疑問に対して、わたしはちにはさらに質問をしたり、ときには答えていくわけです。「この人たちは韃靼人、タタール人と言って、いまのモンゴルやロシアあたりに住んでいた人たちを描いたものです。実は描いたのは日本人なんですけど、インターネットもないのに、どうやって外国の様子を知ったのかな？」みんなは絵の具を簡単に買うことができるけど、実は昔は絵の具はとても高価なものだったんだ

よ「この絵を持っていったのは、福岡に昔あった黒田藩のお殿様です。なぜお殿様がこの絵を持っていたのだと思う？」
楽しみながら、観察して、想像する。そして自分の頭から生まれた疑問を解決するために、調べてみる。一つの絵を窓口にして、社会や世界、そして自分自身と向き合う。まさに美術館というのは、この一連の行為を通して自分を肯定するための装置でもあると思うのです。

学芸員と、 みて はなし。

DATA
 学芸員 後藤 恒
 主任学芸員 (古美術担当) 専門は仏教美術。
 後藤 恒 (ごとう こと) 井上 大輔 (いのうえ だいすけ)
 井上 大輔 (いのうえ だいすけ) 後藤 恒 (ごとう こと)



試作品

完成品

後藤 なんでも「こぶうしくん」の売れ行きがいいそうですね。

井上 そうなんです。ミュージアムグッズは、3年で1000個売れるくらいが通常なのですが、3ヶ月ですでに360個！夏休みに備えて追加の生産を始めました。

後藤 以前コブウシをモチーフに付箋をつくった時に、思ったように売れ行きが伸びず…という経験がありました。だから今回「ぜひコブウシでグッズをつくりたい！」と提案いただいて、担当学芸員としてはすごくうれしかったのですが、この足を踏む気持ちもあって(笑)。売れてくれてうれしいです。なにか勝算があったのですか？

井上 弊社で過去につくった、九州国立博物館《針聞書》の虫グッズの売れ行きがよかったことが念頭にありました。キャラクター的な存在は強いなあと。コブウシそのものにキュートな魅力があるので、それを買いやすい価格でチェーン付きのぬいぐるみにしたらどうだろう？と考えました。

後藤 完成までに試行錯誤がありましたよね。試作段階もいくつか見せていただきましたが、ずいぶんブラッシュアップされてかわいくなりました。

井上 当初はもっと実物に近い形でしたね。バランスがうまくとれなかったので、

脚を太くするなどして安定感を増しました。ややデフォルメをすることで、キャラクター感をアップしています。

後藤 《コブウシ形土製品》の魅力は、実は2011年に当館で開催した、こどもギャラリー「こころのかたち」という展示に出品された時に感じていたのです。来館された方が自由に書き込めるメッセージノートに、子どもたちがたくさんコブウシの絵を描くので、なにか心に留まるものがあるんだろうなあと。

井上 この作品は、どのようなものなのですか？

後藤 制作や使用の目的がわかるような出土状況が報告されていないのですが、膨大な数の出土例が知られ、考古学の研究により紀元前2000年頃のインダス川流域で作られたものとされています。

子どもの玩具だったのでは？という説もありますが、コブウシの姿は印章や彩文土器の文様にも多用されていて、農耕に欠かせない家畜として大切にされたコブウシに、何らかの神聖視がなされていたことは確実のようです。ヒンドゥー教の最高神の一角を担うシヴァ神の乗り物が牛であることも通じています。

井上 なるほど。一般にイメージされる美術作品とは、ちょっとタイプが違う作品ですね。

福岡市美術館がリニューアルオープンして3ヶ月。展示はもちろん、新しくなったミュージアムショップも、多くの来館者を楽しませています。この3ヶ月間のグッズ売上ナンバーワンは、当館所蔵品《コブウシ形土製品》をモチーフにしたオリジナルグッズ「こぶうしくんボールチェーンマスコット」。学芸員とミュージアムショップ店長の二人が、コブウシについて、見て話しました。

コブウシ

見て話した人

学芸員

ミュージアムグッズ開発会社社員



後藤 《コブウシ形土製品》は、もっぱら考古学分野で研究されてきていて、美術館ではあまり見ることができません。日本の美術館では数館だと思います。同じモノに対して、考古学からは「型式論」、美術史からは「様式論」という似て非なる方法でアプローチがなされるのですが、この違いについてはけっこうおもしろいので、近々つきなみ講座でも取り扱ってみたいですね。



井上 店頭で、商品を手にとった方から「この作品はどこで見られるのですか？」と聞かれ、1Fの古美術の展示室をご案内することがよくあります。反対に、「あ、これさっき見たウシだね」と言って購入する方も多いです。作品、商品の両方が入り口になっているのが、おもしろいと感じます。

後藤 わたしたち学芸員は、「どう展示したらこの作品の魅力を引き出せるか？」をいつも考えています。コブウシは、以前ランダムにいろいろな方向に並べて展示したことがありましたが、今回は全部前を向いて整列させてみました。ユーモラスな雰囲気にも生真面目な感じも加わって、ちょっとおもしろく展示できたと思う

のですが、どうでしょう？ 一点を重たく取り上げますが、小品をあえてぎっしり並べて見せる、群衆的な展示のおもしろさもあります。わたしは勝手に「スイミー効果」と呼んでいますが(笑)。

井上 売り場も同じで、どう見せたら売れるか？が腕の見せ所です。コブウシは何度も並べ替えをして、透明ケースにたくさんぎゅうぎゅうに入れた時に、集団のかわいさが発揮されたので、それを採用しています(笑)。

後藤 今後、展示とミュージアムグッズが連携していくのも楽しみです。思いがけない作品の人気が出るという実績もできました。

井上 そうですね。新しい商品の開発も予定していますので、来館者のみなさんには楽しみにしてほしいです。

(株) オークコーポレーション
井上大輔

当館のミュージアムショップ
店長。同社では所蔵品をモチーフにしたオリジナルグッズの開発制作も。



▷ こぶうしくん
ボールチェーンマスコット
800円(税別)

学芸員 後藤 恒

主任学芸員 (古美術担当)。専門は仏教美術。



ショップでは大きいこぶうしくん(非売品)にも会えます。



LECTURE

つきなみ講座

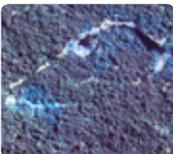
July-September 2019

毎月1回、当館学芸員が、自身の仕事、展示、研究、関心ごとについて語ります。聴講無料。直接会場にお入りください。

7月

「修復の目でみる
油絵の不思議」

- ◆日時 7/13 15:00～16:00
- ◆会場 レクチャールーム(定員 54名)
- ◆講師 渡抜由季(学芸員 近現代美術担当)



ジャン・フォートリエ
「直方体」の
顕微鏡写真

「どこでも美術館」
教材制作の裏話
—版画ボックス編—

- ◆日時 8/31 15:00～16:00
- ◆会場 レクチャールーム(定員 54名)
- ◆講師 上野真歩(学芸員 教育普及担当)



2017年度に制作した
油彩画ボックスを
使用している様子

8月

藤田嗣治の針仕事

9月

- ◆日時 9/28 15:00～16:00
- ◆会場 レクチャールーム(定員 54名)
- ◆講師 岩永悦子(学芸員)



藤田嗣治が晩年をすごした、アトリエを兼ねた住居

FEATURE

夏休み!こども美術館 2019

日本画にチャレンジしよう!

- ◆日時 8/3 10:00～15:00
- ◆会場 アートスタジオ
- ◆対象 小学校3年生～中学生
- ◆定員 20名
- ◆講師 松久公嗣(福岡教育大学教授、日本画家)



日本で昔から使われている絵の具「岩絵の具」や「膠」そして「墨」を使って絵をかいてみよう!完成した絵は「表具」して飾れるようにするよ!

◆申し込み 事前申し込み制です。

メールで申し込みの場合

件名に「夏休みワークショップ」と書き、参加者全員のお名前、年齢、代表者の電話番号、メールアドレスをお書きの上、
workshop@fukuoka-art-museum.jp
までお送りください。

往復はがきで申し込みの場合

参加者全員のお名前、年齢、代表者の電話番号、住所をお書きの上、
〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6
福岡市美術館「夏休みワークショップ」係
までお送りください。
1通で最大3名までの申し込みでお願いいたします。
締切は7月25日(木) 必着です。



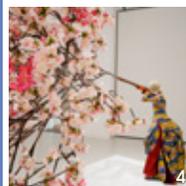
中山喜一郎

1954年大阪生まれ。1981年より福岡市美術館学芸員。その後、市博物館学芸課長、当館学芸課長、運営部長、副館長等を経て本年3月19日に館長就任。専門は日本近世絵画史。

三月のリニューアルオープンのタイミングで、当館に新しい館長が就任しました。「新しい美術館、どうですか?」この三ヶ月間の所感を聞きました。

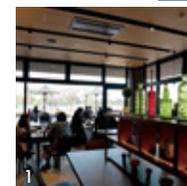
三月二十一日のリニューアルオープンからゴールデンウィークの十連休まではあっと言う間でした。さまざまなイベントがあり、各方面からお客様がこられ、取材対応に追われて、毎日忙しんだか。ロビーで「NHKのドドド、見ましたよ」などと声をかけられ、テレビはすごいと痛感したり。最近ようやく落ち着いて館内の様子を見て回る余裕がでてきました。先日ジョギング姿の中年男性が大濠公園の新アプローチから入ってこられるのを目撃。美術館はじめてだったのでしようか。少しキョロキョロして落ち着かない様子。ショップのあたりをいきつもとどりつされ、なんだかほっとした

顔でカフェに入って行かれました。いままで美術にはそれほど興味なかった方々にも来館していただけるようになったなど、思わず小さくガッツポーズ。
あちこちで、「展覧会をご覧にならなくてもいいんです。気軽にどうぞ」と言っています。コーヒ一杯がきっかけになり、いつか当館のコレクションにも興味を持っていただければと思っています。
美術って、そんなに難しいものではなく、面倒なものでもありません。音楽ではありませんが、ほんの一瞬で作品の前から立ち去ることだってできる。逆に、長いあいだたずんで、自分の時間を紡ぎ出すこともできる。ひとそれぞれの過ごし方で美術館を楽しんでいただければ、そして生活のいつものそばに置いていただければ、こんな幸せなことはありません。



1. 新設されたカフェは連日大賑わい。 2,4,5 リニューアルオープン記念展「これがわたしたちのコレクション+インカ・シヨニバレ CBE: Flower Power」(3/21～5/26)のようす。4は本展にあわせて制作された、インカ・シヨニバレ CBE《桜を放つ女性》。 3. キッズスペースを手がけたオーギカナエさんのワークショップも開催。(3/28・29)

あたらしく、かるやかな、美術館とのつきあいかたのすすめ



夜間開館のお知らせ

リニューアル後、当館の夜間開館の曜日・時間が変わりました。夜間開館ならではのイベントも開催予定です。お楽しみに!
7～10月の金・土曜日は午後8時まで開館(入館は閉館の30分前まで)

福岡市美術館ミュージアムイベント協賛企業・団体



電気代を今よりおトクに!
スマートファミリープラン

お申込み 80 万件突破!



プランの詳細は
スマートファミリープラン 検索



オール電化の他にも
おトクな料金プランが
あるワン!

CALENDAR

TIPS

おまけ美術館

福岡市美術館をもっと楽しむための、
うれしい小さな情報を
取り上げます。

リニューアルを機に新設された2階美術情報コーナーは、もう利用されましたか？ 所藏品検索端末・コレクションギャラリー「もっと！美術感」では約16,000点の当館所藏品情報を見ることができます。さらに、気に入った作品には「いいね！」を押すこともできるんです。開館後から4月までの「いいね！」獲得数ランキングがこちら。トップ3は、猫！猫！犬！ここでも動物人気強し！ぜひあなたの一票も投じてみてくださいね♪



1
木下晋
きのしたすすむ



2
算忠治
あきらむし

3



犬
せんがいぎぼん
仙居義梵

特別展示室	コレクション展示室 近現代美術			コレクション展示室 古美術		東光院仏教美術館
	近現代美術室 A	近現代美術室 B	近現代美術室 C	企画展示室	松永記念館室	
富野由悠季の世界 6/22・9/1	5/28・8/25 近代美術と九州 第1期 5/28・2020/4/19 コレクションハイライト② 1945年以降の現代美術 8/27・11/17 近代美術と九州 第2期	5/30・8/25 藤森静雄と『月映』の作家 8/27・10/27 福岡の現代美術、九州派以後	5/28・2020/4/19 コレクションハイライト① 美術史を彩った巨匠たち	5/28・7/28 田中丸コレクション 唐津と高取 7/30・9/29 夏休み子ども美術館 2019 田中丸コレクション 九州古陶の美	5/28・7/28 松永耳庵の茶 7/30・9/29 茶人の「好み」	通期 東光院のみほとけ

本誌掲載の催しは当館主催のものです。他の催しやイベントの詳細は、当館ウェブサイト随時お知らせします。また、催しの名称、会期などは変更となる場合がございます。

ふくおか応援寄付

ふくおか応援寄付

福岡市美術館が魅力的であり続けるためには、今後とも機会あるごとに美術品を収集することが不可欠であり、そのための資金として皆さまから「ふくおか応援寄付」（ふるさと納税による寄付）を募集しています。

10万円以上ご寄付いただいた方には、特別企画展開会式の招待状（1年分）を、また、福岡市外にお住まいの方で一定額以上の寄付をされた方には福岡市の特産品をお送りします。

みなさまからの応援をお待ちしています！

利用案内

開館時間 9:30～17:30
(7月～10月の金・土曜日は9:30～20:00)
※入館は閉館の30分前まで。

休館日 月曜日/年末年始(12/28～1/4)
※月曜日が祝日・振替休日の場合は
その後の最初の平日

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6

TEL 092-714-6051 (代表) FAX 092-714-6071

www.fukuoka-art-museum.jp

福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM

